

## DT-Lite・DT-Lite II 本体接続の USB メモリより直接データを確認（保存）する方法について

《本説明は DT-Lite II と Windows10 パソコンを使用して説明しております。》

### 【概要】

帳票データ及び設定データ等は、全て USB メモリの保存されております。よって、USB メモリ内のデータを他の PC で表示・保存することが可能です。（CSV 形式データ）

#### ★重要ポイント★

本操作は、日没後の発電停止している状態で実施することをお勧めします。

### 操作手順

1、DT-Lite(II)本体の電源を切る。

コンセント又は本体の AC アダプタを抜いてください。

（Windows を終了させる必要はありません。電源ぶつ切りに対応しております。）



図 - 1

本体にて AC アダプタを抜く

2、本体に挿入されている USB メモリ（標準品はホワイト）を抜いてください。

3、データ保存先のパソコンへ USB メモリを接続してください。

4、接続した USB メモリ『USB DISK(D)』をエクスプローラー等で開き、CSV フォルダ【図 - 2】をデスクトップへコピーしてください。

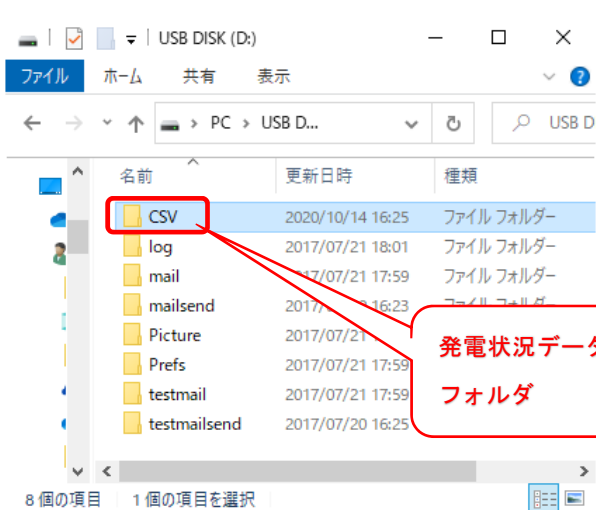


図 - 2



図 - 3

#### ★重要ポイント★

USB メモリの空き領域をプロパティにて確認してください。【図 - 3】

1 GB 未満の場合 1 年程で記録できなくなる可能性があります。

その場合は、5、メモリデータの削除方法 を参考に空き領域を増やしてください。

## 5、メモリデータの削除方法

メモリには、設定データ等が含まれており、誤って消去した場合は、初期設定が必要となります。

作業前に必ず USB メモリ内の全データのバックアップを取ってから作業してください。

必ず、以下データのみを消去願います。

消去可能なデータ

★ 作業前に必ず全データのバックアップを実施の事 ★

CSV フォルダ内の全データ

Log フォルダ ⇒ Err フォルダ内の全データ

⇒ backup フォルダ内の『now.bak』『now.tmp』以外のデータ

⇒ maillog フォルダ内の全データ

## 6、CSV フォルダ内のデータについて

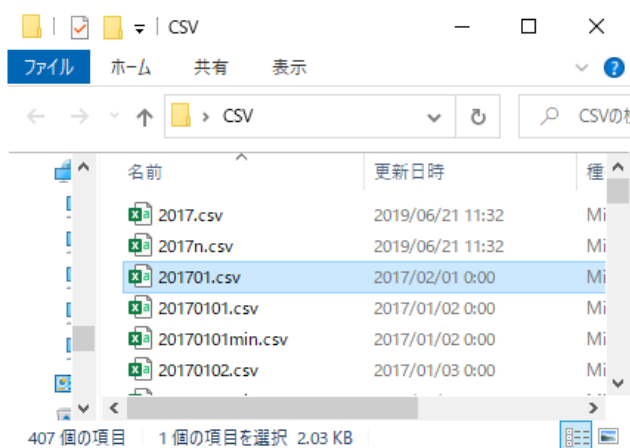


図 - 4

各ファイルに格納されているデータについて

- ・ 2017.csv ⇒ 年報
- ・ 2017n.csv ⇒ 年度報
- ・ 201701.csv ⇒ 月報
- ・ 20170101.csv ⇒ 日報
- ・ 20170101min.csv ⇒ 1 分間報

## 7、以下の手順で、データ保存先のパソコンより USB メモリを安全に取り外してください。

タスクバーより 図 - 5 『ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す』 をクリック

『USB Flash Memory の取り出し』 をクリックして、図 - 6 『ハードウェアの取り出し』 が表示される事を確認の上、USB メモリを取り外してください。(エクスプローラーからの取り外し可)

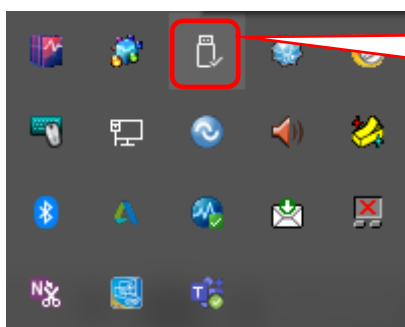


図 - 5



図 - 6

**★重要ポイント★**

他のソフト（ウイルス対策ソフト等）にてスキャン中の場合は取り外さないでください。  
必ず、図 - 6 『ハードウェアの取り外し』が表示される事を確認してください。

7、DT-Lite(II)へ USB メモリを元の位置へ取付け、本体の電源を投入してください。  
プログラムが自動起動して計測を再開します。

**★重要ポイント★**

DT-Lite(II)へ直接接続のモニターにてコンテンツが表示される事を確認してください。

以上

本件についての問い合わせ窓口

三菱電機システムサービス株式会社

商品システム営業部 商シ括部 設計施工部 技術 G 小沼

TEL 03-3418-8390

問い合わせ時間 月～金 9：00～17：30 （祝日省く）